

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 第4回馬術競技会運営委員会



会議資料

令和7年8月21日（木）14:30～

〔 わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会まで あと 39日 〕

三木ホースランドパーク 大会議室

第79回国民スポーツ大会

会期前：令和7年（2025年）9月6日（土）～9月25日（木）

本会期：令和7年（2025年）9月28日（日）～10月8日（水）

第24回全国障害者スポーツ大会

令和7年（2025年）10月25日（土）～27日（月）

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

2025



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会

第4回馬術競技会運営委員会次第

日 時： 令和7年8月21日（木）14：30～

場 所：三木ホースランドパーク 大会議室

1 開会

2 報告事項

- ・わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について

3 審議事項

- ・わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会大会開催方針（案）について
- ・わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会馬事衛生対策実施要項の一部改正（案）について

4 閉会

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会 第4回馬術競技会運営委員会 委員名簿

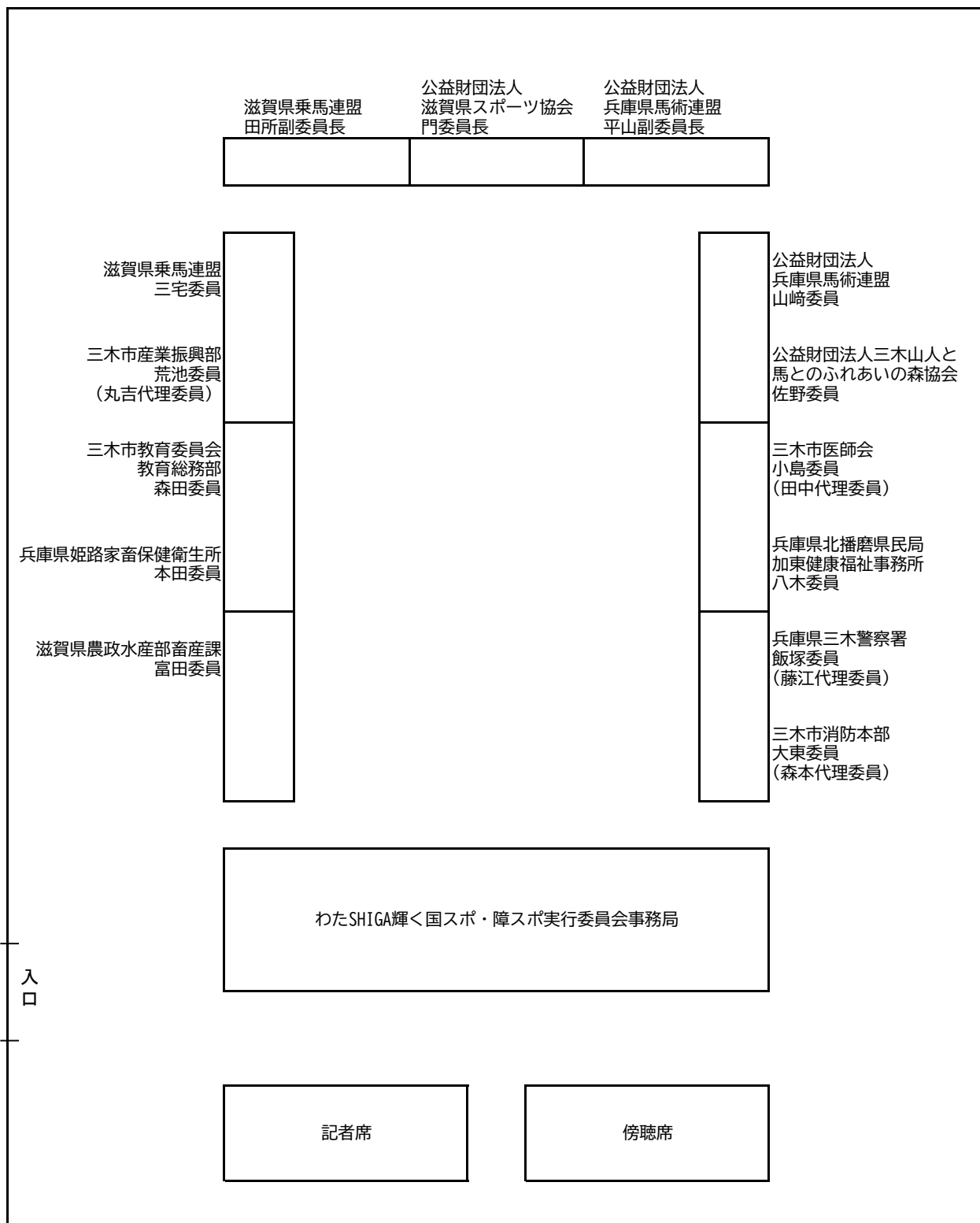
(順不同・敬称略)

役職	所属	職名	氏名	備考
委員長	公益財団法人 滋賀県スポーツ協会	常務理事	門 久仁裕	
副委員長	滋賀県乗馬連盟	会長	田所 勝己	
副委員長	公益財団法人 兵庫県馬術連盟	副会長	平山 一哉	
委員	滋賀県乗馬連盟	理事長	三宅 孝	
委員	公益財団法人 兵庫県馬術連盟	理事長	山崎 由紀子	
委員	公益財団法人 三木山人と馬とのふれあいの森協会	理事長	佐野 健吉	
委員	三木市医師会	会長	小島 俊己	田中代理委員
委員	兵庫県姫路家畜保健衛生所	所長	本田 義貴	
委員	兵庫県北播磨県民局加東健康福祉事務所	食品安全専門官	八木 貴子	
委員	兵庫県三木警察署	署長	飯塚 之利	藤江代理委員
委員	三木市産業振興部	部長	荒池 洋至	丸吉代理委員
委員	三木市教育委員会教育総務部	部長	森田 眞規	
委員	三木市消防本部	消防長	大東 成吉	森本代理委員
委員	滋賀県農政水産部畜産課	課長	富田 文博	

事務局	わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局 (滋賀県国スポ・障スポ大会局)	局長	辻 睦弘	
		競技運営室長	横江 弘昭	
		事務局員	道本 和孝	
		事務局員	前井 和人	
		事務局員	見野 甚九郎	
		事務局員	中村 美友	
		事務局員	梶座 直人	
		事務局員	神田 航志	

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会 第4回馬術競技会運営委員会 配席図

日 時	令和7年8月21日（木）14：30 ～ 16：00
場 所	三木ホースランドパーク 大会議室



わたSHIGA輝く国スポ 馬術競技リハーサル大会について



わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について①



報告事項

01_大会概要

【大会日程】

令和7年（2025年）6月7日（土）～ 8日（日）《2日間》

※入厩日 6月5日（木）～ 6日（金）《2日間》

【会場】

三木ホースランドパーク（兵庫県三木市別所町高木）

【開催競技】

全13競技（馬場馬術競技4、障害飛越競技9）

【参加数】

選手・監督（1日あたり）	：	約	50名
大会関係者（1日あたり）	：	約	170名
一般観覧者（延べ）	：	約	1,000名





わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について②

02_競技運営

【大会全般】

- ・競技運営（競技進行、審判、記録計算等）は、競技役員81名、競技補助員15名で運営
- ・コースビルダーとして、障害飛越競技における障害物の設置・撤去等を陸上自衛隊（青野原駐屯地、姫路駐屯地、第36普通科連隊、第3後方支援連隊）51名の協力により実施
- ・競技会運営（受付、表彰、弁当引換え等）は、実施本部員（滋賀県職員および委託スタッフ）で運営【総務係、受付案内・弁当係、医療・救護係、輸送交通係、式典表彰係、競技会場美化環境係、会場警備係、馬事衛生係】
- ・警備員は、入厩日から1日あたり27名程度を配置（一部、夜間警備を実施）
- ・会場内ペット持ち込み禁止



2



わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について③

03_会議・表彰

【監督会議】

- ・6月6日（金）16:00～
三木ホースランドパークエオの森研修センターで実施
- ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会長（滋賀県知事）、三木市長、競技役員、監督等 約100名が参加



【式典関係】

- ・各種目別表彰を屋外表彰式会場にて入賞者確定後に随時実施（競技進行の妨げにならないよう競技間に実施）
- ・1位～8位に賞状・馬リボン、1位～3位にメダル、1位に副賞（琵琶湖彩ガラス）を授与
- ・プレゼンターは、県実行委員会や競技団体等関係者が務めた
- ・プラカード持ちや表彰のアナウンスは、委託スタッフが実施





わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について④

04_医療救護、弁当・おもてなし、輸送

【医療救護関係】

- ・医師2名、看護師3名を配置
(入厩期間中は、医師1名、看護師3名)



【弁当・おもてなし関係】

- ・滋賀県産の食材を使用した昼食の弁当を競技役員に支給



- ・キッチンカー（4店）および馬具店（3店）、関係市町（三木市、栗東市）の出店

- ・わたSHIGA輝く国スポオリジナルマグネットづくり、謎解きゲームの実施



- ・近江の茶およびポカリスエットの配布、ウォーターサーバーの設置

【輸送関係】

- ・会場周辺（徒歩圏内）に大会関係者および一般観覧者の駐車場を確保
- ・メッセみきに馬運車駐車場を確保（競技会場を結ぶデマンドタクシーを配車）
- ・三木駅、競技会場を結ぶシャトルバスを配車
- ・競技役員向けにホテル（アーバン三木、ルートイン小野）から会場間を結ぶバスを配車



わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会について⑤

05_馬事衛生関係

4月、熊本県および北海道での馬インフルエンザ発生を受けて、
競技団体および家畜保健衛生所と相談し防疫対応を強化

入厩馬匹数：23頭、馬運車台数：12台（8府県）

- ◆予防接種歴の事前確認
- ◆入厩7日前から参加馬の体温等の報告
- ◇入厩前の厩舎等清掃消毒
- ◇厩舎エリアの立入制限（リストバンド）
- ◆入退厩時の車両消毒、運転手等の靴底等消毒
- ◆健康手帳と乗馬登録証の事前提出と
馬を降ろす前の呼吸器症状チェック
- ◇入厩検査（日馬連獣医師団と県職獣医師）
個体識別・臨床検査等
- ◇在厩中の健康観察（1日2回）
- ◇馬診療所・装蹄所の運営
JRA獣医師の協力、民間獣医師および装蹄師への業務委託



タイヤ、靴底等消毒



入厩検査



呼吸器症状チェック



健康観察

わたSHIGA輝く国スポ 馬術競技会開催方針（案）について



わたSHIGA輝く国スポ馬術競技会開催方針（案）について



審議事項

01_大会概要①

- (1) 大会名 わたSHIGA輝く国スポ馬術競技会
- (2) 競技会場 三木ホースランドパーク（兵庫県三木市別所町高木）
- (3) 日 程
 - 入厩日 令和7年9月27日（土）～9月28日（日）
 - 競技日 令和7年9月29日（月）～10月3日（金）
- (4) 主 催 公益財団法人 日本スポーツ協会、文部科学省、
滋賀県、公益社団法人日本馬術連盟
- (5) 来場者見込数 延べ 5,000人
（選手監督、競技役員、実施本部員、観客等）





01_大会概要②

日程	種目(種別)	
	馬場馬術競技	障害飛越競技
9月29日(月)	<ul style="list-style-type: none">・ 成年男子馬場馬術競技・ 少年馬場馬術競技	<ul style="list-style-type: none">・ 成年女子二段階障害飛越競技・ 成年男子スピードアンドハンディネス競技・ 少年標準障害飛越競技・ 成年男子ダービー競技
9月30日(火)	<ul style="list-style-type: none">・ 成年女子馬場馬術競技・ 成年男子国体総合馬術競技	<ul style="list-style-type: none">・ 成年女子ダービー競技・ 少年スピードアンドハンディネス競技・ 成年男子トップスコア競技・ 少年団体障害飛越競技
10月1日(水)	<ul style="list-style-type: none">・ 成年男子自由演技馬場馬術競技	<ul style="list-style-type: none">・ 少年二段階障害飛越競技・ 成年女子標準障害飛越競技・ 少年リレー競技・ 成年男子国体総合馬術競技
10月2日(木)	<ul style="list-style-type: none">・ 少年自由演技馬場馬術競技・ 成年女子自由演技馬場馬術競技	<ul style="list-style-type: none">・ 少年ダービー競技・ 成年女子トップスコア競技・ 成年男子標準障害飛越競技
10月3日(金)		<ul style="list-style-type: none">・ 少年トップスコア競技・ 成年男子六段階障害飛越競技



02_大会方針 ～みんなが輝く大会に～①

わたSHIGA輝く国スポ・障スポを契機に実践する4つのポイント

1 環境に配慮し実践する大会
～みんなで作る、サステナブルな大会～

主な内容

- わたSHIGA輝く国スポ・障スポMLGs宣言(13項目に沿った取組の実践)
- 再生繊維100%スタッフウェアの採用
- リサイクル金属でメダルを製作
- マイボトル持参の呼びかけ(会場のウォーターサーバー等で給水)

競技にはマイボトルを持参しよう

リサイクル金属を活用

2 おもてなしで 滋賀の魅力発信
～みんなで来賓者をあたたかく迎え～

主な内容

- 地域の特徴を活かしたおもてなしの広場を会場運営
- 滋賀・びわ湖の素材を活かした「食」を提供
 - ・ 式典弁当では滋賀・びわ湖の食材を活用
- ホスピタリティー溢れるスタッフの養成

おもてなし広場で滋賀の魅力発信

お弁当には滋賀の美味しい食材を

多くのボランティアが変える

3 スポーツの力でつくる共生社会
～みんなが「する」「みる」「変える」を体験できる大会～

主な内容

- 競技会場等のバリアフリー対策(障スポ)
- 障スポ全競技会場にカーンダウンスペースを設置 **大会初**
- 誰もが大会を楽しめる環境づくり
 - ・ 国スポに加えて障スポも競技映像をインターネットで配信
- 「心のバリアフリー」の推進
 - ※ 様々な心身の特性や考え方を持つ人々が、相互に理解を深めよう
 - ※ コミュニケーションをとり、支え合うこと
 - ・ 大会に関わる方向けの「心のバリアフリー」リーフレットを作成

みんなが楽しめる大会に向けた後援者

コミュニケーションから生まれる新たな繋がりを

お互いを理解し支え合う

4 子ども、若者、女性が活躍
～みんなが主役、輝くステージ～

主な内容

- 「滋賀レイキッズ」をはじめとする次世代育成システムの確立
- 競技会場を彩る応援のほり旗を子どもが制作
- 炬火受皿の装飾物を小学生が制作
 - ※ 聖火にあたる炬火を一時的に灯すための受皿

都道府県等の名や名物を描き選手を応援

衣は作られたり、物産品は「滋賀レイキッズ」

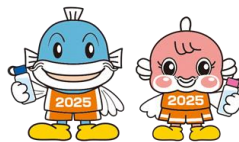
炬火受皿の台座ピースを子どもが制作



02_大会方針 ～みんなが輝く大会に～②

1. 環境に配慮し実践する大会に ～みんなでつくるサステナブルな大会～

- (1) マイボトル持参呼びかけ
(ウォーターサーバーの設置)



- (2) 森のマイボトル作製

滋賀県産のヒノキやスギの廃チップを原料の一部として活用し、プラスチックの使用量を削減

- (3) 競技別プログラムの電子化

- (4) リサイクル金属でのメダル作製



4



02_大会方針 ～みんなが輝く大会に～③

2. おもてなしで滋賀の魅力発信 ～みんなで来場者をあたたかくお迎え～

- (1) 売店等の公募



- (2) ふるまい

滋賀県の銘菓等を配布予定



- (3) 記念品（陶器マグネット）の配布

滋賀県の伝統工芸品である「信楽焼」で作製した自然な風合いと温もりのある陶器マグネット 巾着は再生素材を使用しており、環境にやさしく、小物入れとしても利用可能

- (4) 滋賀県産食材を使用した弁当の支給、幹旋

- (5) 御当地障害物の作成

- (6) 会場装飾



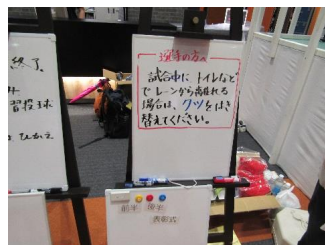
5



02_大会方針 ～みんなが輝く大会に～④

3. スポーツの力でつくる共生社会 ～みんなが「する」「見る」「支える」を体験できる大会～

- (1) バリアフリートイレの設置（既設）
- (2) 筆談ボードの設置
- (3) 授乳・搾乳室の設置（既設）
- (4) カームダウンスペースの設置
- (5) 競技映像および表彰式の様子を配信



わたSHIGA輝く国スポ馬術競技リハーサル大会の表彰式を公開中！

【大会1日目/6月7日（土）】



馬術競技表彰式-1



馬術競技表彰式-2

6



02_大会方針 ～みんなが輝く大会に～⑤

4. 子ども、若者、女性が活躍 ～みんなが主役、輝くステージ～

- (1) 学校観戦の実施（三木市内の学校5校の参加、約500名）
- (2) 滋賀県内の高校生による競技運営への参画（競技会補助員）
滋賀県立膳所高校、滋賀県立栗東高校、滋賀県立長浜農業高校から各7名ずつの予定
- (3) 子どもによる応援のぼり旗の制作
- (4) 引き馬体験、ニンジンタイムの実施
- (5) 滋賀県からの観戦ツアーの実施



7



03_競技運営①

【実施体制】

○ 競技運営（競技進行、審判、記録計算等）

- ・ 競技役員
- ・ 競技補助員



○ コースビルダー（障害飛越競技における障害物の設置・撤去等）

- ・ 陸上自衛隊(青野原駐屯地、姫路駐屯地、千僧駐屯地、福知山駐屯地)

○ 競技会運営（総務係/受付案内・弁当係/医療救護係/式典表彰係/競技会会場美化環境係/会場警備係/馬事衛生係）

- ・ 実施本部員（県職員、委託事業者）
- ・ 競技会補助員



○ 警備（夜間警備も含む）

- ・ 警備員（委託事業者）



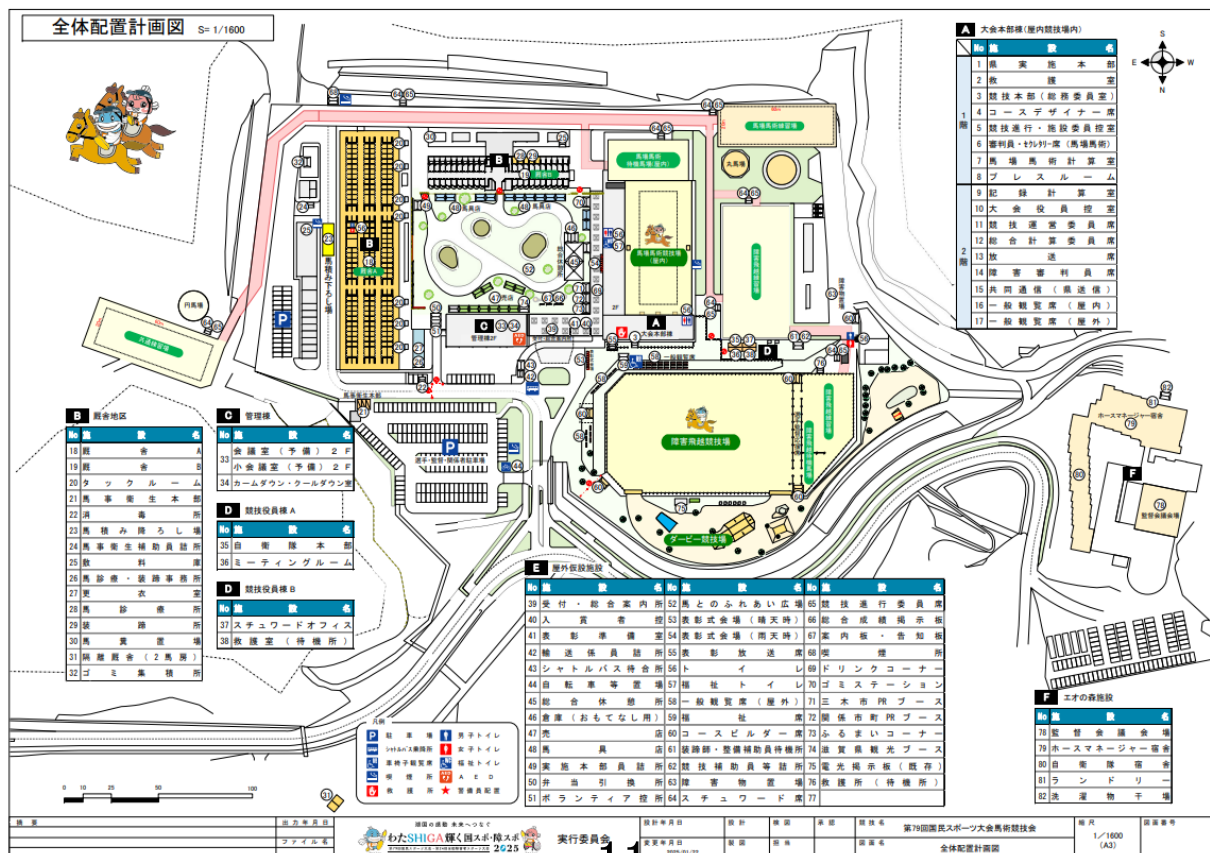
○ 運営ボランティア

- ・ 9/29(月)～10/3(金)の5日間 延べ81名



03_競技運営②

【図面】





04_会議・式典

【監督会議】

- 日程 令和7年9月28日（日） 16:00～
- 場所 三木ホースランドパークエオの森研修センター

【式典】

（1）種目別表彰式

- ・実施日 各日競技終了後
- ・会場 三木ホースランドパーク屋外馬場競技場ウィナーズサークル
（最終日のみ：屋内競技場馬場（インドアアリーナ））
- ・表彰対象 各種目1位～8位
※1位～8位（賞状、馬リボン）、1位～3位（メダル）、1位（副賞）



（2）総合表彰式

- ・実施日 令和7年10月3日（金）13:00～
- ・会場 三木ホースランドパーク屋内競技場馬場（インドアアリーナ）
- ・表彰対象 天皇杯1位～8位、皇后杯1位～8位
※各1位～8位（賞状）、各2位～8位（副賞）
※天皇杯1位（トロフィー、わたSHIGA輝く賞（滋賀県の名産））
※皇后杯1位（三木市長賞（三木市の名産））



10

わたSHIGA輝く国スポ馬術競技会開催方針（案）について



05_医療救護、熱中症対策

【医療救護】

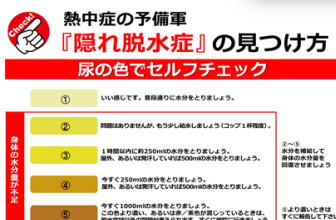
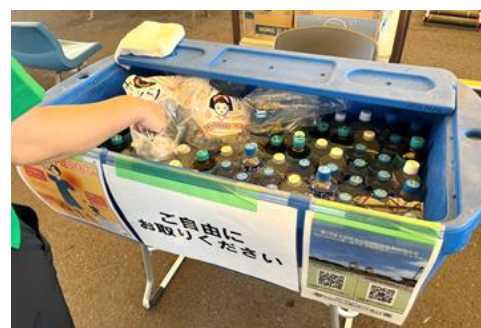
- ・医師2名、看護師3名を配置
（入既期間中は、医師1名、看護師3名）
- ・救護所を2か所設置



【熱中症対策】

○主な取り組み

- ①ウォーターサーバーの設置
- ②ドリンクコーナーの設置
- ③塩分タブレットの配布
- ④WBGT値（暑さ指数）の放送による注意喚起
- ⑤クールダウンスペースの設置
- ⑥セルフチェックシートの掲示



出典元：厚生労働省ホームページ



06_宿泊・衛生

【宿泊】

滋賀県実行委員会および配宿センターで配宿先を手配

- ・ 競技役員 ：アーバンホテル三木（三木市）、ルートイン小野（小野市）
- ・ 選手、監督：ネスタリゾート神戸（三木市）、加古川プラザホテル（加古川市）、
姫路キャッスルグランヴィリオホテル（姫路市）、ルートイン加東（加東市）、
神戸西神オリエンタルホテル（神戸市）
- ・ ホースマネージャーおよび補助員：エオの森研修センター（三木ホースランドパーク内）



【弁当】

- ・ 9月27日（土）～10月3日（金）の7日間、1日最大600食の弁当を提供する予定
（競技役員、補助員、ボランティアには支給、選手監督等には幹旋で対応）
- ・ 弁当引き換えまでの弁当保管方法や消費期限の徹底、手洗い等衛生管理の徹底に努める

【売店、ふるまい等】

- ・ 売店、馬具店、キッチンカー、三木市ブースおよび滋賀県ブースの出店を予定
- ・ 10月2日（木）、3日（金）は、呈茶ブースを設置する予定
- ・ 滋賀県および三木市の銘菓をふるまいとして配布
- ・ ドリンクコーナーの設置

12

わたSHIGA輝く国スポ馬術競技会開催方針（案）について



07_輸送・交通、消防・警備

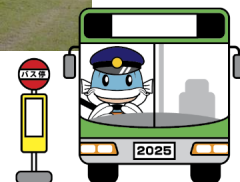
【輸送・交通】

（競技役員向け）

- ・ 神戸空港、新神戸駅と競技会場を結ぶバスを配車
- ・ 宿泊施設と競技会場間のバスを配車
- ・ 会場内に役員用の駐車場を確保

（その他）

- ・ 会場周辺に関係者駐車場（選手・監督等）および一般駐車場の確保
- ・ メッセみき（会場から徒歩20分程度）に馬運車駐車場を確保し、
競技会場までの交通手段としてデマンドタクシーを配車予定
- ・ 一般観覧者等向けに三木駅と競技会場を直通で結ぶシャトルバスを配車する予定
- ・ 学校観戦および観戦ツアーのバスを確保
- ・ 駐車場への警備員の配置やバス乗り場への誘導員等の配置



【消防・警備】

- ・ 消防への催物開催届出、露店等の開設届出（売店で火気使用がある場合）の提出
- ・ 緊急時対応マニュアル作成および緊急時の連絡体制の構築
（施設管理者をはじめ関係者と協議のうえ今後作成）
- ・ 会場内制限区域、駐車場入口、馬運車通行禁止箇所をはじめ必要箇所に警備員を配置（夜間警備も併せて実施）





08_広報等

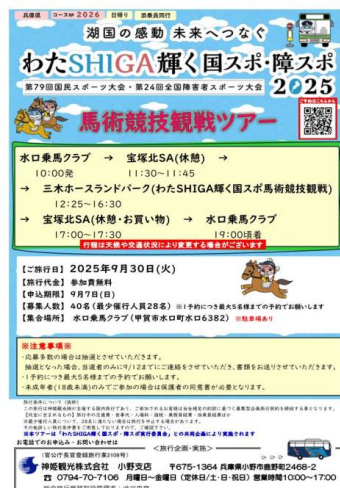
（兵庫県内）

- ・競技会場に横断幕、ポスターの掲示およびチラシの配架
- ・道の駅みきに懸垂幕の掲示
- ・三木市役所への懸垂幕の掲示（予定）
- ・三木金物まつりへの出店
- ・広報みき（市広報誌）での広報
- ・ラジオ関西でのラジオ広報（予定）
- ・神戸電鉄での広告掲示



（滋賀県内）

- ・びわこ放送による番組の制作・放映（予定）
- ・滋賀県からの観戦ツアーの実施およびWEB広報等の実施
- ・新聞掲載での広告掲示



14

わたSHIGA輝く国スポ馬術競技会開催方針（案）について



09_馬事衛生関係①

馬事衛生対策実施要項等に基づき、参加馬の伝染性疾病予防およびまん延防止、健康管理および輸送等に対応する。なお、国内において18年ぶりに発生した馬インフルエンザに対して、以下のとおり防疫対応を強化する。

- 1 予防接種歴の事前確認（追加接種）
- 2 入厩7日前から参加馬の体温等の報告（1日2回）
- 3 健康手帳と乗馬登録証の事前提出と馬を降ろす前の呼吸器症状チェック
- 4 在厩中の健康観察巡回（1日2回）

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ
第79回馬スポ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025
馬術競技会参加留意事項

大会に参加するための3つの条件

- ①馬インフルエンザの予防接種を、参加申込後に追加接種された場合は、最新の報告が必要です。
- ②入厩7日前から1日2回の体温測定、馬の健康状態の報告が必要です。
- ③到着時に、健康手帳と乗馬登録証の原本を提出ください。また、馬を降ろす前に、積載馬の呼吸器症状の有無をチェックしてください。

今回、大会に参加するためには、以上の3つの条件を守って頂かないと、入厩を認められませんので、何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会 事務局



09_馬事衛生関係②

- ◇予防接種歴の事前確認
- ◇入厩7日前から参加馬の体温等の報告
- ◇入厩前の厩舎等清掃消毒
- ◇厩舎エリアの立入制限（リストバンド）
- ◇入退厩時の車両消毒、運転手等の靴底等消毒
- ◇健康手帳と乗馬登録証の事前提出と
馬を降ろす前の呼吸器症状チェック
- ◇入厩検査（日馬連獣医師団と県職獣医師）
個体識別・臨床検査等
- ◇在厩中の健康観察（1日2回）
- ◇馬診療所・装蹄所の運営
JRA獣医師の協力、委託獣医師および装蹄師

予防接種歴



呼吸器症状のチェック



健康観察



入厩検査



車両消毒



消毒励行



立入制限



馬診療所・装蹄所

わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会 馬事衛生対策実施要項（改正案）

1 趣旨

この要項は、わた SHIGA 輝く国スポ馬術競技会馬事衛生業務実施計画に基づき、馬術競技参加馬（以下、「参加馬」という。）の伝染性疾病予防およびまん延防止、健康管理および輸送等の馬事衛生対策ならびに馬のウェルフェアに関し必要な事項を定める。

2 期間

(1) リハーサル大会

入厩日 : 令和7年6月5日（木曜日）～6日（金曜日）

競技および退厩日 : 令和7年6月7日（土曜日）～8日（日曜日）

(2) 本大会

入厩日 : 令和7年9月27日（金曜日）～28日（日曜日）

競技および退厩日 : 令和7年9月29日（月曜日）～10月3日（金曜日）

3 実施体制

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会（以下、「実行委員会」という。）は、県実施本部（馬術班）内に馬事衛生係を設置する。馬事衛生係は、競技役員である日本馬術連盟規程に基づく獣医師団（以下、「獣医師団」という。）等と連携して馬事衛生業務を実施する。

4 適用基準

馬事衛生業務における防疫基準は、公益社団法人日本馬術連盟の「馬インフルエンザ予防接種実施要領」の最新版の規程および公益財団法人三木山人と馬とのふれあいの森協会の「三木ホースランドパーク入厩条件」に準拠するものとする。また、これらの運用においては、本実施要項に定めるもののほか、必要に応じて、同連盟が定める最新の「獣医規程」を参酌するものとする。

5 伝染性疾病予防およびまん延防止

馬事衛生係は、入厩から退厩までの期間、衛生管理区域を別添のとおり設定する。馬事衛生係および獣医師団は、競技会場に出入りする馬、人、車両等による伝染性疾病の持ち込み、持ち出しおよび衛生管理区域内でのまん延防止を目的として、防疫措置を以下のとおり実施する。

(1) 健康手帳等の確認、馬体照合および臨床検査

ア 馬事衛生係は、参加馬の監督、ホースマネージャー等の馬管理者（以下、「馬管理者等」という。）に対し、「馬インフルエンザ予防接種実施要領」および「三木ホースランドパーク入厩条件」を遵守することについてあらかじめ周知するとともに、到着後、参加馬を馬事衛生係の指示に従い馬房に入厩させる。入厩に際し、馬管理者等は、馬事衛生係に「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」（以下、「健康手帳」という。）および「日本馬術連盟乗馬登録証」（以下、「登録証」という。）を提出し、以下に掲げる措置において、馬事衛生係および獣医師団の指示に従うものとする。

- イ 獣医師団は馬事衛生係と協力し、「馬インフルエンザ予防接種実施要領」に基づく予防接種が参加馬に実施されているかを健康手帳により確認するとともに、参加馬の特徴を登録証と照合する。併せて、視診、聴診、打診、触診およびその他必要と認める方法により、参加馬の臨床検査を実施する。
- ウ 馬事衛生係は、馬管理者等に対し、上記イに基づく確認および検査が終了するまで、参加馬を馬房に留まらせる。
- エ 馬事衛生係は、上記イの結果を馬管理者等に伝えるとともに、ワクチン未接種および登録証との照合で一致しない参加馬の馬管理者等に対して、速やかに参加馬を退厩させる旨を指示する。

(2) 消毒、清掃等

ア 衛生管理区域入口での消毒

馬事衛生係は、衛生管理区域を出入りする馬の蹄および人の靴底等の消毒のため、必要な箇所に消毒マットを設置するとともに、車両消毒のため、衛生管理区域の入口に車両消毒設備を設置する。

馬事衛生係は、消毒マットや車両消毒設備を適切に管理運用する。

イ 厩舎等の清掃および消毒

馬事衛生係は、入厩の期間前および退厩の期間後に、厩舎、馬洗い場、馬糞置場等の清掃および消毒を行う。期間中においては、馬管理者等において適宜清掃や消毒を実施し、厩舎、馬洗い場、馬糞置場等を清潔に保つよう努める。

ウ 立入り制限

衛生管理区域への立入りは、あらかじめ馬事衛生係が配付する「入厩許可証」を身に付け、定められた出入口からのみ行うものとする。

エ 隔離厩舎の設置

馬事衛生係は、伝染性疾病を発症した参加馬および伝染性疾病が疑われる参加馬（以下、「発症馬等」）を隔離するための隔離厩舎を衛生管理区域および競技会場外に設置する。馬管理者等は、馬事衛生係の指示に従い発症馬等を隔離厩舎へ移動させる。

6 競技会期間中の健康管理・馬診療・装蹄等

(1) 期間中の健康管理

馬事衛生係は、馬管理者等に対し、毎日、参加馬の健康観察および体温測定の結果を報告させ、獣医師団等と連携して、異常の早期発見に努める。

(2) 馬診療

ア 馬事衛生係が配置する診療を行う獣医師（以下、「救護獣医師」という。）

馬事衛生係は、期間中、参加馬の傷病発生等に対応するため、馬診療所を設置し、救護獣医師を配置する。救護獣医師は、昼間は競技会場に常駐し、夜間は競技会場の近隣に待機する。

救護獣医師は、馬管理者等の依頼により、参加馬に発生した傷病等の応急手当等を行う。なお、費用は馬管理者等が負担し、支払方法は別途定める。

イ 救護獣医師以外の診療を行う獣医師（以下、「外来獣医師」という。）

外来獣医師は、期間中に参加馬の診療をする場合、別途定めた方法により事前に馬事衛生係に届け出なければならない。なお、支払方法は外来獣医師で定めるものとし、費用は馬管理者等が負担する。

ウ 報告等

救護獣医師および外来獣医師は、その実績を各診療日の翌日までに馬事衛生係を通じて獣医師団長に提出する。

エ 医薬品等

馬事衛生係は、救護獣医師と協議し、診療に使用する医薬品等を配備するものとする。

外来獣医師は、診療に使用する医薬品等はすべて自らの責任において準備するものとする。

(3) 参加馬に異常があった場合

馬事衛生係は、上記5(2)アおよびイにより救護獣医師または外来獣医師から参加馬の異常の報告を受けた場合、獣医師団等と協議し、必要な措置を講ずる。

(4) 装蹄

ア 馬事衛生係が配置する装蹄師（以下、「公設装蹄師」という。）

馬事衛生係は、公設装蹄師を期間中の昼間、競技会場に常駐させる。公設装蹄師は、馬管理者等の依頼により、参加馬に発生した落鉄等に対する装蹄業務を行う。なお、費用は馬管理者等が負担し、支払方法は別途定める。

イ 公設装蹄師以外の装蹄師（以下、「外来装蹄師」という。）

外来装蹄師は、期間中に参加馬の装蹄業務をする場合、別途定めた方法により事前に馬事衛生係に届け出なければならない。なお、支払方法は外来装蹄師で定めるものとし、費用は馬管理者等が負担する。

ウ 報告等

公設装蹄師および外来装蹄師は、その実績を各従事日の翌日までに馬事衛生係に提出する。

7 伝染性疾病発生時の対応

馬事衛生係は、参加馬に伝染性疾病等を疑う事例が発生した場合、兵庫県姫路家畜保健衛生所に報告し、兵庫県の家畜防疫員の指示に従い、まん延防止のために必要な措置をとるものとする。

8 入・退厩

(1) 入・退厩計画の作成

馬事衛生係は、入・退厩可能日時を定め、すべての参加馬が安全に入・退厩できるように、入・退厩計画を作成する。

(2) 入・退厩時の手続きおよび連絡調整

ア 入厩時

馬管理者等は、実行委員会に対してあらかじめ入厩申込をするものとし、申し込むことなく入厩することは一切認めない。申込は、馬運車ごとに、入厩予定日時、参加馬の輸送頭数、車両番号等、実行委員会があらかじめ定めた項目を申告して行うものとする。また、申込後に変更が

ある場合は必ず実行委員会に連絡する。

イ 退厩時

馬管理者等は、入厩と同様に、実行委員会に対してあらかじめ退厩申込をするものとし、申し込むことなく退厩することは一切認めない。

9 飼料および敷料

(1) 飼料

馬管理者等は、入厩時に参加馬の飼料を持参もしくは調達し、退厩の際は全て持ち帰ること。
なお、調達する際は、実行委員会が紹介する飼料業者を利用することもできる。

(2) 敷料

敷料はおが粉等とし、馬事衛生係は、参加馬が在厩中に必要な敷料を準備するとともに、不足が生じた場合は適宜支給する。

10 馬管理者等の責務

(1) 出発前の健康検査および参加馬の輸送

馬管理者等は、競技場入厩の1週間前から極力馬の移動を控え、入厩直前に発熱、咳や鼻水などの臨床症状がないことを確認し、輸送日の7日前からは参加馬の体温測定を行い、異常がないことを確認する。

また、参加馬の輸送は馬運車を使用するものとし、参加馬を積み込む前に馬運車の内部清掃および消毒を行うこと。なお、輸送は馬管理者等の責任および費用で行う。

(2) 健康手帳ならびに登録証の確認および携行

馬管理者等は、出発前に馬インフルエンザワクチンの接種の確認および登録証と参加馬の照合を行う。

馬管理者等のうち参加馬の入厩に立ち会う者は、健康手帳および登録証を会場に携行し、会場到着後速やかに馬事衛生係に提出する。

(3) 期間中の参加馬の体温測定および健康観察

馬管理者等は、期間中毎日、参加馬の体温測定および健康観察を行い、別に定める方法で、その結果を馬事衛生係に報告するとともに、異常の早期発見に努めるものとする。なお、異常を発見した場合は、速やかに救護獣医師および外来獣医師等を通じて馬事衛生係に連絡しなければならない。

(4) 厩舎内外の清掃等

馬管理者等は期間中および退厩時、厩舎内外の清掃を行い、清潔に保つよう努める。

11 その他

本実施要項に定めるもののほか、馬事衛生に必要な事項や様式等については別に定める。

付則 この要項は、令和7年3月12日から施行する。

この要項は、令和7年8月●日から適用する。

新 旧 対 照 表

旧（改正元）	新（改正案）
<p>1 から 4 （略）</p> <p>5 伝染性疾病予防およびまん延防止</p> <p>馬事衛生係は、入厩から退厩までの期間、衛生管理区域を別添のとおりに設定する。馬事衛生係および獣医師団は、競技会場に出入りする馬、人、車両等による伝染性疾病の持ち込み、持ち出しおよび衛生管理区域内でのまん延防止を目的として、防疫措置を以下のとおり実施する。</p> <p>(1) 健康手帳等の確認、馬体照合および臨床検査</p> <p>ア 馬事衛生係は、参加馬の監督、ホースマネージャー等の馬管理者（以下、「馬管理者等」という。）に対し、「馬インフルエンザ予防接種実施要領」および「三木ホースランドパーク入厩条件」を遵守することについてあらかじめ周知するとともに、到着後直ちに、参加馬を馬事衛生係が指定する馬房に入厩させる。入厩後、馬管理者等は、馬事衛生係に「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」（以下、「健康手帳」という。）および「日本馬術連盟乗馬登録証」（以下、「登録証」という。）を提出し、以下に掲げる措置において、馬事衛生係および獣医師団の指示に従うものとする。</p> <p>イからエ （略）</p> <p>5 の(2)から 6 の(1) （略）</p> <p>6 競技会期間中の健康管理・馬診療・装蹄等</p> <p>(2) 馬診療</p> <p>アからイ （略）</p> <p>ウ 報告等</p> <p>救護獣医師および外来獣医師は、その実績を各診療日の翌日までに馬事衛生係に提出する。</p> <p>エ （略）</p>	<p>1 から 4 （略）</p> <p>5 伝染性疾病予防およびまん延防止</p> <p>馬事衛生係は、入厩から退厩までの期間、衛生管理区域を別添のとおりに設定する。馬事衛生係および獣医師団は、競技会場に出入りする馬、人、車両等による伝染性疾病の持ち込み、持ち出しおよび衛生管理区域内でのまん延防止を目的として、防疫措置を以下のとおり実施する。</p> <p>(1) 健康手帳等の確認、馬体照合および臨床検査</p> <p>ア 馬事衛生係は、参加馬の監督、ホースマネージャー等の馬管理者（以下、「馬管理者等」という。）に対し、「馬インフルエンザ予防接種実施要領」および「三木ホースランドパーク入厩条件」を遵守することについてあらかじめ周知するとともに、到着後直ちに、参加馬を馬事衛生係の指示に従い馬房に入厩させる。入厩に際し、馬管理者等は、馬事衛生係に「馬の検査、注射、薬浴、投薬証明手帳」（以下、「健康手帳」という。）および「日本馬術連盟乗馬登録証」（以下、「登録証」という。）を予め提出し、以下に掲げる措置において、馬事衛生係および獣医師団の指示に従うものとする。</p> <p>イからエ （略）</p> <p>5 の(2)から 6 の(1) （略）</p> <p>6 競技会期間中の健康管理・馬診療・装蹄等</p> <p>(2) 馬診療</p> <p>アからイ （略）</p> <p>ウ 報告等</p> <p>救護獣医師および外来獣医師は、その実績を各診療日の翌日までに馬事衛生係を通じて獣医師団長に提出する。</p> <p>エ （略）</p>

新 旧 対 照 表

旧（改正元）	新（改正案）
<p>6 の(3)から 9 （略）</p> <p>10 馬管理者等の責務</p> <p>(1) 出発前の健康検査および参加馬の輸送</p> <p>馬管理者等は、競技場入厩の 1 週間前から極力馬の移動を控え、入厩直前に発熱、咳や鼻水などの臨床症状がないことを確認し、輸送日の 3 日前からは参加馬の体温測定を行い、異常がないことを確認する。</p> <p>また、参加馬の輸送は馬運車を使用するものとし、参加馬を積み込む前に馬運車の内部清掃および消毒を行うこと。なお、輸送は馬管理者等の責任および費用で行う。</p> <p>10 の (2) から 11 （略）</p> <p>付則 この要項は、令和 7 年 3 月 12 日から施行する。</p>	<p>6 の(3)から 9 （略）</p> <p>10 馬管理者等の責務</p> <p>(1) 出発前の健康検査および参加馬の輸送</p> <p>馬管理者等は、競技場入厩の 1 週間前から極力馬の移動を控え、入厩直前に発熱、咳や鼻水などの臨床症状がないことを確認し、輸送日の 7 日前からは参加馬の体温測定を行い、異常がないことを確認する。</p> <p>また、参加馬の輸送は馬運車を使用するものとし、参加馬を積み込む前に馬運車の内部清掃および消毒を行うこと。なお、輸送は馬管理者等の責任および費用で行う。</p> <p>10 の (2) から 11 （略）</p> <p>付則 この要項は、令和 7 年 3 月 12 日から施行する。 <u>この要項は、令和 7 年 8 月 1 日から適用する。</u></p>

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 2025



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号

滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 県運営競技係

TEL 077-528-3343 / FAX 077-528-4836

e-mail: equestrian@pref.shiga.lg.jp
